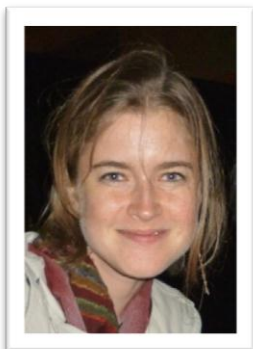


# Academic English/語学講義

## ◆講師紹介 Ms Beatrice Shelley



愛称は「Bea」。スレンダーな先生です。

出身はイングランドですが、現在はイタリアにお住まいとのこと。お仕事で様々な国で教え歩いているとのことですが、なんと日本に住んでいたこともあるそうです。

趣味はダンスのほか、最近は料理にも凝っているそうです。

## ◆授業紹介

二つの語学授業のうちの一つがこの Academic English Class。Bea のクラスでは、その時々トピックについての意見を求められることが多かったように思います。授業では、日本と海外の国々との祝日の比較、観光地のラジオ広告のディクテーション、プレゼンテーションの方法そのものについての学習と、自分の出身地についてのプレゼンテーションなど、ユニークなトピックを扱いました。以下では、授業の中でも特に印象に残った 2 つのトピックを紹介します。

### 【1】 Discovering Cambridge

その名の通りケンブリッジの街を知るためのクラスでした。英語で経路についての指示が書かれた資料を参考に、学生が先導して目的地を目指します。King's College や Sydney Sussex College、Trinity College などいくつかのカレッジにも立ち寄り、まさに大学と街が一体となったケンブリッジの姿に感動を抱きました。他にも、ワトソンとクリックが DNA の 2 重らせん構造を発見した研究所や、ケンブリッジの名物 Fudge の製造工場などを巡ることができました。

写真は「数学橋」と呼ばれる橋。釘などを用いず、木材の組み合わせのみで設計された。設計者はケンブリッジ大学OBとのこと。



### 【2】 Debate

19 世紀頃に創設されたといわれるケンブリッジ大学のディベートクラブは、議論に当たり、発表や評決についての独自の様式を保っています。このクラスでは、そうした様式を踏襲しつつ、いくつかのトピックについてチームを組み、学生同士が議論を戦わせました。ディベートに向けたミーティングは深夜・早朝に及ぶこともありましたが、チームごと非常に熱心に取り組む姿が見受けられました。また、オーディエンスからも積極的な質問がなされ、ディベートを取り仕切る Chairperson の下、非常に白熱した議論が展開されました。

Y.Tanaka

# Business English/語学講義

## ◆講師紹介 Ms Sue Black

明るくて優しく、すこしおちゃめなところもある先生です。よくカレッジの前で煙草を吸っていたのが印象的(笑)。とても気さくな方で、ランチ等の授業時間外でもよく会話を楽しみました！



## ◆授業紹介

スー先生の授業では、**Job English** を学びました。その内容は、私が今までの人生で受けて来た語学クラスのものとは大きく違いました。というのも、カリキュラムがとても独創的で、且つ力が確実に付いている事をととても実感できる物であったからです。

特に鮮烈に印象に残った授業は「**Job Interview**」でした。どんなものかという、会社側、応募希望者側に分けられクラス内でグループを作ります。そして会社側グループは希望者を採用するための質問を独自に作り、それを基に実際に希望者と面接をします。希望者はその質問にその場で応える、というものです。どちらかの側に立つだけではなく、必ず両方経験します。

さらに、各グループが考えだす質問はとても創造的で面白く、そして応えるのに少し難しいものです。まるで本物の面接そのもので、みんなも真剣！最終的に会社に採用された子は、まるで本当に就職が決まったかのようにとても喜んでいました！

さらに、英語のリズムを音に乗って学ぶという学習もありました。それはとても面白く、且つ英語のアクセント、リスニングのコツ等を学ぶ事が出来ました。その為、自身の発音改善だけでなく、リスニング力向上にとっても有益なものでした。今でもそのリズムは体が覚えています。まさに、「英語を体感」できるアクティブな授業でした！

加えて、もうひとつ印象に残っている事。それは、スーが紹介してくれたマイリー・サイラスの「**It's the climb**」という曲です。この曲の歌詞は、たとえどんなに自らの夢や目標が困難に見えたとしても、努力を続けてそこへ向かっていく、というものです。今の私たち、即ち各々の夢や目標を持ってこの法学研修に参加し、そしてこの先続く夢へ向かって歩みだそうとしている私たちにぴったりの応援歌でした。授業では皆でこの曲を歌いました。そのため、帰国した今でもこの曲を聴くと、スーに背中を押されている様な気がして、そして共に頑張った語学クラスの仲間の事を思い出し、もう一度「頑張ろう」と思えます。本当に、大切な1曲となりました。思い返すと、スーの授業は全てが新鮮で学びが多く、心から英語を「楽しめ」ました！

そして最後にアドバイスです。

授業を受けるにあたり、特に難しい事は要求されず、また特別なスキルも要りません。本当に大切な事は、毎回の授業に熱意を持って取り組む事です。学ぶ姿勢、そして英語を肌で感じて楽しむ姿勢さえあれば、スーの授業は毎回エキサイティングで価値のあるものとなります！

本当に実りの多かった授業でした。スー大好きです！

Y.Iizuka